

2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年5月12日

上場会社名 K L a b 株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3656 URL <https://www.klab.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森田 英克
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-5771-1100
 四半期報告書提出予定日 2022年5月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (<https://www.klab.com/jp/ir/library/>)
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	4,111	△35.7	△281	—	△123	—	△177	—
2021年12月期第1四半期	6,392	△13.8	△505	—	△386	—	△1,383	—

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 △224百万円(—%) 2021年12月期第1四半期 △1,397百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	△4.66	—
2021年12月期第1四半期	△35.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	18,719	12,630	67.4
2021年12月期	18,707	12,806	68.4

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 12,620百万円 2021年12月期 12,796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

2022年12月期の連結業績予想については、合理的な業績予想の算出が困難であるため、非開示といたします。なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になった場合は速やかに開示する方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料5ページ「四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	38,631,100株	2021年12月期	38,631,100株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	641,500株	2021年12月期	641,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	37,989,600株	2021年12月期1Q	38,491,277株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

業績の概要につきましては、当社ウェブサイトに掲載しております、四半期決算説明資料をご確認ください。

<https://www.klab.com/jp/ir/library/presentations/>

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
(1) 四半期連結貸借対照表	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6

四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,816,978	4,751,319
売掛金	2,259,169	1,273,034
有価証券	936,120	957,797
未収還付法人税等	189,013	178,453
その他	2,723,081	2,114,269
貸倒引当金	△28,553	△29,442
流動資産合計	9,895,809	9,245,431
固定資産		
有形固定資産	325,296	303,585
無形固定資産		
ソフトウェア	619,691	590,776
ソフトウェア仮勘定	1,444,880	2,111,384
のれん	822,029	799,812
その他	672	672
無形固定資産合計	2,887,274	3,502,646
投資その他の資産		
投資有価証券	3,234,012	3,256,096
その他	2,377,021	2,411,758
貸倒引当金	△11,901	—
投資その他の資産合計	5,599,131	5,667,855
固定資産合計	8,811,702	9,474,087
資産合計	18,707,512	18,719,518
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,916,692	1,366,500
1年内返済予定の長期借入金	541,788	893,814
賞与引当金	132,521	33,771
その他	2,527,912	2,202,904
流動負債合計	5,118,914	4,496,990
固定負債		
長期借入金	462,044	1,352,310
その他	320,000	240,000
固定負債合計	782,044	1,592,310
負債合計	5,900,958	6,089,300
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,957,479	4,957,479
資本剰余金	4,707,029	4,707,029
利益剰余金	3,322,329	3,193,472
自己株式	△397,362	△397,362
株主資本合計	12,589,476	12,460,618
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	240,027	255,442
為替換算調整勘定	△33,033	△95,876
その他の包括利益累計額合計	206,994	159,565
新株予約権	10,083	10,033
純資産合計	12,806,554	12,630,217
負債純資産合計	18,707,512	18,719,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	6,392,934	4,111,138
売上原価	6,064,633	3,502,224
売上総利益	328,301	608,913
販売費及び一般管理費	833,343	890,799
営業損失(△)	△505,042	△281,885
営業外収益		
受取利息	10,470	3,923
受取配当金	9,115	10,974
持分法による投資利益	6,766	—
為替差益	120,743	158,143
その他	3,568	5,858
営業外収益合計	150,664	178,899
営業外費用		
支払利息	1,190	1,913
持分法による投資損失	—	306
投資事業組合運用損	5,236	15,290
その他	25,749	2,507
営業外費用合計	32,175	20,018
経常損失(△)	△386,554	△123,003
特別利益		
自己新株予約権消却益	60	50
投資有価証券売却益	31,130	—
特別利益合計	31,191	50
特別損失		
減損損失	1,540,574	—
固定資産除却損	78	0
特別損失合計	1,540,653	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,896,015	△122,953
法人税等	△512,058	54,253
四半期純損失(△)	△1,383,957	△177,206
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,383,957	△177,206

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純損失(△)	△1,383,957	△177,206
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,805	15,415
為替換算調整勘定	△30,546	△62,843
その他の包括利益合計	△13,740	△47,428
四半期包括利益	△1,397,698	△224,635
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,397,698	△224,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下、「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、ユーザーからの課金収入について、従来、ゲーム内の有償通貨をユーザーが消費し、アイテムに交換したときに収益を認識しておりましたが、有償通貨をユーザーが消費して入手したアイテムの性質に応じ、その利用期間を見積り、当該見積り利用期間に応じて収益を認識する方法に変更しております。また、ライセンスを供与する取引の一部について、従来は契約に基づき、請求書を発行した時点で当該請求書の金額にて収益を認識しておりましたが、ライセンスを顧客に供与する際の約束の性質が、ライセンスが供与される時点で知的財産を使用する権利である場合は、一時点で収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は9,070千円増加し、営業損失は9,070千円減少し、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ13,123千円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は48,349千円増加しております。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
外部顧客への売上高	6,273,456	119,478	6,392,934
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,273,456	119,478	6,392,934
セグメント利益	257,720	70,580	328,301

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ゲーム事業」セグメントにおいて、ソフトウェアの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては1,540,574千円であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	四半期連結損益計算書計上額 (注)2
	ゲーム事業		
売上高			
ユーザーからの課金収益	3,442,944	—	3,442,944
その他	528,295	139,898	668,194
顧客との契約から生じる収益	3,971,240	139,898	4,111,138
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	3,971,240	139,898	4,111,138
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,971,240	139,898	4,111,138
セグメント利益又は損失(△)	644,237	△35,323	608,913

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リサーチ&コンサルティング事業・その他事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため差異調整は行っておりません。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の算定方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の「ゲーム事業」の売上高は9,070千円増加、セグメント利益は9,070千円増加しております。